

第38回「部落差別をなくする運動」強調旬間 in 黒潮町

【期間 7月9日(土)～20日(水)】

部落差別とは

日本固有の人権問題である部落差別は、憲法が保障する基本的人権に関わる重要な問題です。

1965(昭和40)年の「同和对策審議会答申」以来、旧大方町と旧佐賀町では、部落差別の解決のために積極的に取り組んできました。その結果、住環境整備や産業振興などの主要なハード事業は、いくつかの課題を残しつつもおおむね完了し、一定の成果を収めることができました。

しかし、人々の觀念や潜在意識にかかわる心理的差別については、着実に解消へ向けて進んでいるものの、結婚問題を中心に依然として根深く存在しています。このことは、2005(平成17)年・2006(平成18)年に実施した住民意識調査の結果をみても明らかです。今後は、この心理的差別の解消を目指し、これまでの同和教育や啓発活動によって積み上げられてきた成果とこれまでの手法への評

価を踏まえて、他のさまざまな人権課題との関連を考慮しながら、教育・啓発を中心に部落差別の解決をめざしていくことが必要とされています。

期間中の行事

この期間、総合センター(佐賀支所前)で写真などの特別展示や講演会を行います。入場は、すべて無料です。皆さんのお越しをお待ちしています。

◆特別展示『リバティ』

- ▼解放子ども会の活動紹介
- ▼地区の今昔写真展

期間/7月9日(土)～20日(水)

※10日(日)・17日(日)・18日(月)は休館日です。

場所/総合センター 玄関ホール

◆講演会

演題/「出会いと表現」

講師/大湾 昇さん

(徳島県同和対象地区青少年連絡協議会「止揚の会」事務局)

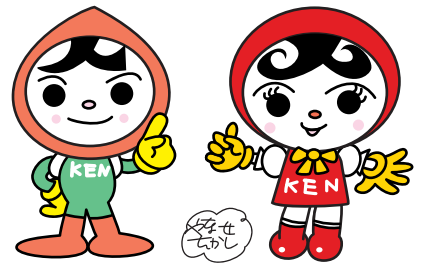
日時/7月19日(火)

開場/午後6時30分 開演 午後7時

場所/総合センター 2階 大ホール

[講師プロフィール]

難しいととらえられがちな「同和・人権教育」を、日常の身近な事例を用いて、エネルギーに温かい語り口で講演する。また、心理テスト・紙芝居・イラスト等を使い、当たり前にも潜む人権課題を浮き彫りにする。学習会指導員、中学女子バスケット部コーチの経験から、現代の子どもたちが抱える問題にも触れる。1974年9月生まれ。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

県の強調旬間

【7月10日(日)～20日(水)】

日時 7月13日(水)

開場 午後1時

開演 午後1時30分

場所 高知県民文化ホール

(オレンジホール)※入場無料

講演 午後3時10分

演題 「橋はかかる、差別のない

世の中を目指して」

講師 村崎 太郎さん(猿まわし師)



問 本庁住民課 人権啓発係

☎ 43-2800(直通)

大方町民館

☎ 43-1204

大方児童館

☎ 43-3622

教育委員会 人権教育係

☎ 55-3190(直通)

佐賀町民館・児童館

☎ 55-2108